

令和2年4月17日

ご利用ユーザー様、関係各位

工業会 日本万引防止システム協会  
総務委員会

## 新型コロナウイルスからお客様と従業員を守るためにすべきこと

日頃より万引防止システムをご利用いただきありがとうございます。

この新型コロナウイルス禍で、不安のあまり、「みんな休めばいい」と発言する人がいます。

生活に必要なものを供給している卸小売業に1000万人、運輸業に300万人、勿論、それを生産、製造している人も数百万人はいるはず。医療や介護に携わっている人は700万人、警察、消防を含む公務員も300万人。こんな人たちに支えられて私たちは生活しています。

一人一人が自分に何ができるか考え、小さな事でもいいからその役割を果たしたいと思います。

日々の生活に欠かすことのできない食品や生活雑貨を多くの人々に供給・販売しているスーパーマーケットなどの地域の店舗は、この非常事態においては人々の生活にとってなくてはならない機能を果たし続けなくてはなりません。

最前線で尽力されている皆様に感謝の念を込め、米国カリフォルニア州のスーパーマーケット業界団体 (California Grocers Association) から発せられた、お客様向けの「スーパーマーケットでの買物の心得」というメッセージをリメイクしてご紹介します。

### >> スーパーマーケットでの買物の心得 <<

人が多いこともあるので、マスク着用は必須です。せきが出る、熱っぽいなど体調不良時は買い物に行かないでください。買い物に出かける時と、帰宅したときは手指の消毒や手洗いを念入りにしてください。

- その1 買い物の回数を減らすため、日持ちする食材や食品を選ぶ。  
(買い過ぎにも注意。基本、1週間分、それより少し多めを目安に。)
- その2 買物で持参するバッグ及び買い物時に貰ったバッグは、使用後に洗濯をするか、または帰宅後にすぐには使わず3日以降に再利用する。  
(ウイルスはプラスチックに付着しても2-3日は生存する。)
- その3 店舗の混雑を防ぐことに協力を。  
(買物は1家族1人で来店して。)
- その4 店内では、ほかのお客様と安全な距離をあけて。  
(他のお客様とは最低1メートル、できれば2メートル離れる。)

- その5 不必要にすべての商品に触れないで。  
(購入しようと思う商品だけをまず目で見てから手に取るように。)
- その6 レジで並ぶ時も、前後に近づきすぎない。  
(レジでの支払いを待つときも店内ルールに従い安全な距離をあけて並んで。)
- その7 従業員には優しく。  
(従業員は一生懸命働き、安全対策に注力している。欠品は彼らの責任ではない。)
- その8 店舗によっては特別の時間や決め事があるかを確認する。  
(お年寄りなどのために、専用の時間や優先的な配慮を設けている店もあり。  
ネットで事前に確認して。)
- その9 店舗によっては、混雑で人数を制限しているので、時間に余裕を持って。  
(近所のスーパーが混雑しているなら、運動不足解消のため、家から歩いてやや離れた場所に買い物に行くのも良い。)
- その10 お釣りを貰わないキャッシュレスがお勧め。  
(お金は多くの方が触れるのでウイルスが付着している可能性があるため。)

お客様にお願いするだけではなく、もちろん小売業の店舗では、様々な対策をとらなくてはなりません。すでに一部の店舗のレジでは、お客様とレジ従業員の間に、透明のシールド（ビニールなど）を設置しています（米国では、アクリルボードを取り付けるところも）。

また、チラシをやめてお客様が一時期に集中しないようにしたり、（マスクや消毒用アルコールなどを手に入れるためなど）開店前にお客様が並ぶような、販売方法を変えるなどもされています。商品の試食などは、すでにほとんど売場から姿を消しているはずですが、再チェックが必要です。

化粧品のテスターによる感染リスクが考えられます。一部の店舗では撤去していますが、まだまだそのままの売場も多くありました。（4月13日時点で）

ショッピングカートや買物かご、レジ周り、サッカー台などの頻繁な清掃消毒なども必要です。

監修：医学博士・健康アドバイザー福田千晶医師

推薦：一般財団法人日本ヘルスケア協会

協力：エイジスリテイルサポート研究所株式会社（ARI）